

在セネガル日本国大使館月報

2025年3月

主な出来事

セネガル

(外政)

- 財政調査を行うべくセネガルを訪問中の IMF ミッションの Gemayel 団長は、25日、ファイ大統領を表敬訪問。また、同団長は国営放送 RFI のインタビューにおいて、2019年から2024年のマッキー・サル前政権下で70億米ドルの負債が隠されていたと述べた。(26日 Walf Quotidien)

(日本関連)

- 25日、大阪・関西万博2025へのセネガルの参加式典が開催され、ジョップ産業・商業大臣が出席。同大臣は、万博への参加により1千億 FCFA のセネガル向け投資が期待できると語った。(26日 Le Soleil)

(経済)

- 国家民間航空・気象庁は2024年のブレーズ・ジャーニュ国際空港(ダカール空港)の利用者数が3,050,154人で前年比マイナス0.7%だったことを公表した。エール・セネガルはマイナス16.57%だった。(18日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 10日、モンテイロ外務大臣はブラジルのヴィエイラ外務大臣を迎え、カーボベルを西アフリカ ECOWAS 経済圏とブラジルの貿易拠点にしていくことで一致。(10日 Expresso das Ilhas)
- 21日から25日にかけて、カーボベルデ国民議会議長率いる議員団がルクセンブルクを公式訪問。
- 26日及び28日、ミンデロ市とプライア市で、日本とカーボベルデの外交関係樹立50周年を記念する文化イベントを開催。

ガンビア

- ガンビアは米国政府による渡航禁止国リストに含まれた。The Point紙が得た情報によれば、ガンビア政府がガンビア人3千人の米国からの強制送還に応じないためとされる。(18日 The Point)

ギニアビサウ

- 3日、エンバロ大統領は、2選目に向けて次期大統領選挙に出馬する意思を表明。(4日 Walf Quotidien)
- エンバロ大統領は、ギニアビサウの政治対立を仲裁するために派遣されていた ECOWAS のハイレベルミッションの追放(1日に出国)を命じ、同ミッションが戻ることはないと言断。(4日 O Democrata)
- 7日、エンバロ大統領は、大統領選挙と国民議会選挙を11月23日に同日実施することを発表。(7日 O Democrata)

セネガル

(内政)

内政一般

- 11日、国民議会は、モロッコとの間で、同国で訴追された人物の移送に関する合意書を批准した。これを受け、ファル外務大臣は、モロッコに在住するマッキー・サル前大統領を対象としたものではないとの見解を示した。(12日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 6日、IMFはセネガル政府の会計監査報告書の発表を受け、財政の持続性を確保しようとするセネガル政府を支援し、セネガル政府と対話を続けていくことを表明。(8日 Le Soleil)
- 13日、ファイ大統領は、ブラジルのヴィエイラ外務大臣を迎え、二国間関係について意見交換した。(13日 大統領府 X)
- 17日、ファル外務大臣はモーリタニアを訪問し、ガズワニ大統領及びメルズグ外務大臣と会談。(17日 外務省 X)
- 18日、IMF ミッションとサル経済大臣は会合を開催し、セネガル会計検査院が公表した財政監査報告書の問題について協議した。(19日 Le Soleil)
- 18日、EU はセネガル国家警察に対し、文書偽造、不法移民対策のため警察の能力向上を図る機材を供与。(19日 Le Soleil)
- 20日、ファル外務大臣は、フィンランドを訪問し、ストゥップ大統領、ヴァルトネン外務大臣と会談。(21日 外務省 X)
- 25日、ファイ大統領は、フェーウェイ社北アフリカ社長のリー氏を迎え、デジタル、エネルギー、人材育成分野における同社との協力について議論。(25日 大統領府 X)
- 財政調査を行うべくセネガルを訪問中の IMF ミッションの Gemayel 団長は、25日、ファイ大統領を表敬訪問した。また、同団長は国営放送 RFI のインタビューにおいて、2019年から2024年のマッキー・サル前政権下で70億米ドルの負債が隠されていたことを述べた。(26日 Walf Quotidien)
- 27日、ファイ大統領はルワンダのカガメ大統領と会談し、コンゴ民主共和国東部の情勢について協議。(28日 Le Soleil)

日本関連

- 25日、大阪・関西万博2025へのセネガルの参加式典が開催され、ジョップ産業・商業大臣が出席した。同大臣は、万博への参加により1千億 FCFA のセネガル向け投資が期待できると語った。(26日 Le Soleil)
- 28日、在セネガル日本国大使館は、草の根・人間の安全保障無償資金協力「チェップ市 3 地区農業用井戸及びソーラーポンプ整備計画」(ケベメル件チェップ市)の引渡式を開催し、赤松大使が出席した。(29日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 11日、ジョップ産業・商業大臣は、食品加工関連会社を視察訪問し、セネガルの食糧自給達成に向け2050年までに地域生産、経済特区を活用し産業化を達成することをメディアに語った。(12日 Le

Soleil)

- 国家民間航空・気象庁は2024年のブレーズ・ジャーニュ国際空港(ダカール空港)の利用者数が3,050,154人で前年比マイナス0.7%だったことを公表した。エール・セネガルはマイナス16.57%だった。(18日 Le Soleil)
- 18日、セネガル全国経営者団体は、セネガルを訪問中の中国山東省の投資家一行を迎え、農業、医薬品、医療機器、デジタル、AI、インフラ整備等の分野での協力関係強化について協議。(20日 Le Soleil)

(社会)

- 14日、ギラシー国民教育大臣は、デジタル能力と AI 分野における教員を養成する事業を推進すべく説明会を開催した。約10万人の教員及び事務職員を養成することを目標に掲げた。(15日 Le Soleil)

(文化・スポーツ)

- 5日、シェイク・アンタ・ジョップ大学(UCAD)は、新学長にアリウン・カンジ教授(文学部長、専門は英文学)を選出したことを公表した。(7日 Le Soleil)
- 21日、シェイク・アンタ・ジョップ大学のジェヌ臨時学長とカンジ新学長との間で職務引渡が行われた。(22日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 観光研究所は、2024年にカーボベルデを訪問した観光客数が120万人に達し、過去最高を記録したことを公表した。加えて、ヨーロッパ人観光客の選好により今後も増え続けるとの見通しを示した。(4日 balai CV)
- 10日、モンテイロ外務大臣はブラジルのヴィエイラ外務大臣を迎え、カーボベルを西アフリカECOWAS経済圏とブラジルの貿易拠点にしていくことで一致。(10日 Expresso das Ilhas)
- 19日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、米国が定める入国制限国リストからカーボベルデが除外されるよう努めていることを発表。(19日 Expresso das Ilhas)
- 20日、ネーヴェシュ大統領は、父の日に際して11名の拘留者に対して恩赦を与えた。(21日 Expresso das Ilhas)
- 21日から25日にかけて、カーボベルデ国民議会議長率いる議員団がルクセンブルクを公式訪問。アンリ・ルクセンブルク大公、ベッテル外相、ウィヌレー国民議会議長を表敬。(24日 ルクセンブルク政府コミュニケ)
- 24日から27日にかけて、レティシア・スペイン王妃がカーボベルデを訪問。ジェンダー平等、包括的な開発、ブルーエコノミー分野のスペイン開発協力サイトを視察。同訪問にはエバ・マリア・グラナドス国際協力担当閣外大臣が同行。(17日 カーボベルデ政府Facebook)
- 26日及び28日、ミンデロ市とプライア市で、日本とカーボベルデの外交関係樹立50周年を記念する文化イベントを開催。日本の「太鼓」とカーボベルデの「タベンカ」による太鼓、歌、踊りのパフォーマンスや着物、焼酎のデモンストレーションを開催。(25日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 4日、国民議会において国外在住のガンビア人に対する投票権の付与をめぐる議決が行われ、賛成14反対25で否決された。(5日 The Point)
- 駐ガンビア中国大使はガンビア大学の学生と職員に対し、2025年度の奨学金を授与した。この奨学金プログラムは2017年に始まり、年間授業料の全額が支払われる。(7日 The Point)
- 9日、ヤヤ・ジャメ前大統領政権下で数々の殺人罪に問われていたボラ・コリー准将が、拘留中に死亡した。同准将は、8年の亡命の後、昨年8月に帰国し拘留されていた。(11日 Seneweb)
- ガンビアは米国政府による渡航禁止国リストに含まれた。The Point紙が得た情報によれば、ガンビア政府がガンビア人3千人の米国からの強制送還に応じないためとされる。(18日 The Point)
- 27日、バロウ大統領は、タンザニアのハッサン大統領の特使で同国元大統領のキクウェテ氏を迎え、二国間関係について協議。(28日 The Point)

ギニアビサウ

- 3日、エンバロ大統領は、2選目に向けて次期大統領選挙に出馬する意思を表明。(4日 Walf Quotidien)
- 3日、エンバロ大統領はパリにてマクロン大統領と会談し、二国間関係、ECOWASとの問題、ウクライナ情勢等について意見交換した。(4日 大統領府Facebook)
- エンバロ大統領は、ギニアビサウの政治対立を仲裁するために派遣されていたECOWASのハイレベルミッションの追放(1日に出国)を命じ、同ミッションが戻ることはないと言断。(4日 O Democrata)
- 5日、ペレイラ外務大臣はECOWAS仲裁団がギニアビサウの諸制度に対する敬意を欠き、法を侵害したとして記者会見にてECOWASを非難した。(8日 O Democrata)
- 7日、エンバロ大統領は、大統領選挙と国民議会選挙を11月23日に同日実施することを発表。(7日 O Democrata)
- 8日、政府は、2025年のカシューナッツ流通キャンペーンにおいて、1kgあたりの最低価格を410 FCFAに設定することを公表。(8日 O Democrata)
- 19日、国連人権・飲料水・衛生特別報告者のペドロ・アロホ＝アグド氏は、統計によるとギニアの人口の24%しか安全な飲料水サービスを利用できないことを明らかにした。(19日 O Democrata)